

次の課題文を読んで、以下の問いに答えなさい。

【課題文】

「多数決で決めよう」のどこが問題か、わかりますか？

苫野 今回、工藤さんと民主主義と教育という非常に重要なテーマで対談をさせていただくことになりました。非常に光栄です。

工藤 いやいや、こちらこそ光栄です。僕は学校改革を、苫野さんは教員養成の改革に日々取り組んでいるわけで、使う言葉は違うかもしれませんが目指している方向は同じ。今回の対談でそのあたりの方向合わせがうまくできればいいですし、僕に足りない哲学的な知識をどんどん補っていただけたらと思っています。

苫野 がんばります。

工藤 ではまずこの本で僕が一番伝えたいことを明確にしておきたいので、僕なりに考える「民主主義」や「民主的な社会」とは何か、その説明からさせてもらいますね。

僕の考える民主的な社会とは「誰一人置き去りにしない社会」のことです。これは、SDGs^{注1}の理念でもあります。もう少し具体的にいうと、自分の居場所がちゃんとあって、自分らしく生きることができて、意思に反したことを強要されたり権利が不当に侵害されたりすることがない社会。そして、ここが重要なんですけど、みんな自由なだけけれども、ちゃんと平和的に共存できている社会。これが民主主義の理想です。

苫野 私もまったく同感です。

工藤 一方で、日本で一般的に認識されている民主主義って「多数決で物事を決める社会」なんですね。議会制民主主義とほぼ同じ意味、そんな解釈がすごく多い気がします。

たとえば、最近ブラック校則をやめる動きが全国で広まりつつありますね。子どもたちの人権を守るという意味ではとても民主的だし、従来のトップダウンの学校運営とは比べようもないほどのすごく大きな一歩です。でも、その動きと合わせて「学内民主主義」という言葉を見かけるようになったのですが、この言葉が少し気になっています。というのも、この文脈で使われる「民主主義」って「学校のルールを決めるときは、生徒や保護者の声をちゃんと聞きましようね」という意味しか含まないことが多いからです。

苫野 声は聞くけど、そこからどう合意形成をしていくかまではあまり十分に練られていないということですか？最後は結局、多数決、といった。

工藤 そうなりそうなんですよね。「国には投票権があるし、基本的人権が守られているから、すでに民主主義は実現している。それに似た仕組みを学校にも導入しましよう」という話が多いんです。

「民主」というくらいですから、普通に解釈すれば「民に主権がある→できるだ

け多くの声を反映する」と解釈はできます。でも、それって①本来の民主主義の観点からすればずいぶん低次元の話をしているんじゃないでしょうか。

なぜなら多数決という仕組みは少数派を容赦なく切り捨てる可能性が高いから。つまり多数決という意思決定の仕方に頼りきっている限り、「誰一人置き去りにしない社会」はいつまでも実現しないんです。

たとえば、文化祭で出し物を決めるとき、最終的にA案とB案が「8：2」で分かれたとしましょう。するとほぼ間違いなく多数決でA案が採用されますね。A案を支持した人はうれしいでしょうし、教員も「民主的に解決できてよかったな」と満足げな顔をする。でもそこで置き去りにされるのは、頑なにA案に反対していた子どもの意思ですよ。

しかも、日本では少数派を切り捨てた挙げ句、「一度みんなで決めたことはやり通せ」って言いますよね。厳しい言い方をすれば、ただのファシズム^{注2}です。教室では「ダイバーシティ^{注3}が大切だよ」「マイノリティ^{注4}の権利を守りましよう」と言っている教員が、自分の教室で罪悪感を一切抱くことなくマイノリティを切り捨てているんですね。

苫野 ②それが多数決の大きな問題ですね。いわゆる「多数者の専制」に陥ってしま

(注1) SDGs：2015年9月25日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標

(注2) ファシズム：イタリアの国粋主義。独裁の一種

(注3) ダイバーシティ：多様性の意

(注4) マイノリティ：少数派

(出典：工藤勇一・苫野一徳「子どもたちに民主主義を教えよう 対立から合意を導く力を育む」あさま社、2022年より抜粋 一部改変)

【問1】

本文下線部①本来の民主主義の観点からする民主的な合意形成について、筆者たちの解釈とはどのようなものですか。本文中の言葉を抜き出し、12字以内で答えなさい。ただし、「合意形成」につなげること。

【問2】

本文下線部②それが多数決の大きな問題ですね。いわゆる「多数者の専制」に陥ってしまおうという筆者の言葉を受けて、学校で多数決によらない合意形成を行うためには、あなたはもうどうしたらいいと考えますか。本文中の筆者の考えを踏まえた上で、具体的な例を挙げながら、700字以内で述べなさい。